

計量分析手法 (2単位)

担当者氏名 新部昭夫

◆学習・教育目標

国際バイオビジネス学においては、経済活動や経営活動にともなう実証的な数量データを収集し、動向分析や経営戦略の評価、将来予測などに関する計量分析が多く用いられる。本講義においては、これらの計量分析に用いられる統計分析の理論を解説し、その分析手法の実際を教示する。分析ソフトとして Excel 統計や SPSS を用いて予定である

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

記述統計 _____ 統計的推論 _____ 回帰分析 _____ 重回帰分析 _____
計量経済分析 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	統計学の基礎知識 1～3回	平均と分散、標準偏差と標準誤差	統計学における記述的方法と推論的方法の理解
2	分布関数と検定 4～6回	t 検定、F 検定、カイ二乗検定	
3	回帰分析の知識と演習 7～10回	単純回帰モデルの基礎知識と演習 重回帰モデルの基礎知識と演習	回帰モデルの適用方法と係数の理解、
4	カテゴリカルデータの分析 11～13回	順位相関係数、数量化、独立性の検定	カテゴリカルデータの特徴と分析方法の理解
5	計量経済分析の基礎知識と演習 14～15回	ダミー変数、系列相関、多重共線性	計量経済分析で使用頻度な高い分析手法の理解

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

数量的経済分析の基礎理論／木村和範／日本経済評論社 (2003年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート (50%)、課題 (50%)

◆その他受講上の注意事項